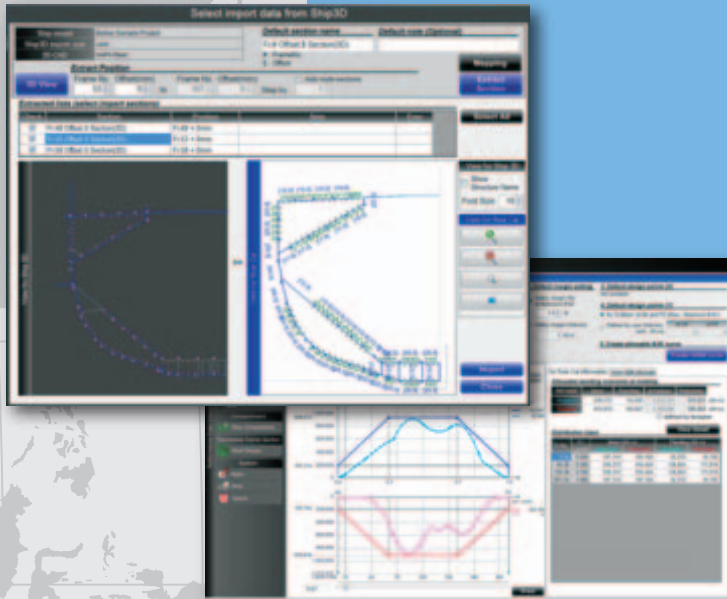


CAD Interface

2次元/3次元船殻CADと規則算式計算システムとの
データ連携インターフェースプログラム



主な特徴

- ◆CAD及び性能計算ソフトのデータを有効活用
- ◆データ作成工数の削減、入力ミスの防止
- ◆船舶の設計作業を強力にサポート

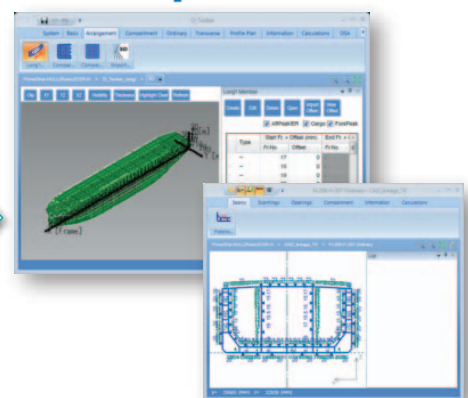
CSR(Common Structural Rules)及び調和CSRの規則算式計算で必要となる船体横断面形状、部材寸法、区画情報をはじめとした各種パラメータや縦強度計算結果などを包括しており、データ作成による負担軽減及びミスの防止のために威力を発揮します。

データ連携の概要

2次元CAD ◇DXF, DWG
3次元CAD ◇NAPA Steel
性能計算ソフト ◇PrimeShip-IPCA ◇NAPA



PrimeShip-HULL



※データのやり取りはPrimeShip-CAD XML Schema Groupを介して行います。



PrimeShip-CAD XML Schema Groupは、ClassNKが提供するCSR対応規則算式計算ソフトと市販の船殻3次元CAD及び船舶性能計算ソフト間でのデータ連携を実現するために開発されたXML形式のデータ構造ファイルです。汎用性を持たせることで、各種システム間でのデータ連携を可能としており、広く一般に公開しております。

ソフトウェア構成

PrimeShip-CAD Interfaceは、以下のインターフェースプログラムから構成されています。

3次元CAD連携用インターフェース

◇ NAPA Steel XML Interface*

NAPA Steelと XML Schema for Ship3D間でのデータ連携を行うためのインターフェースプログラム

性能計算用ソフトとのインターフェース

◇ IPCA Interface for PrimeShip-CAD*

◇ NAPA XML Interface*

性能計算ソフトから、XML Schema for Performanceを生成するインターフェースプログラム

CSR対応算式計算ソフト連携用インターフェース

◇ PrimeShip-CAD Interface for CSR Rules

DXF/DWG形式の2D CADデータおよびXMLファイルから規則算式計算ソフト用のデータファイルを生成するソフトウェア

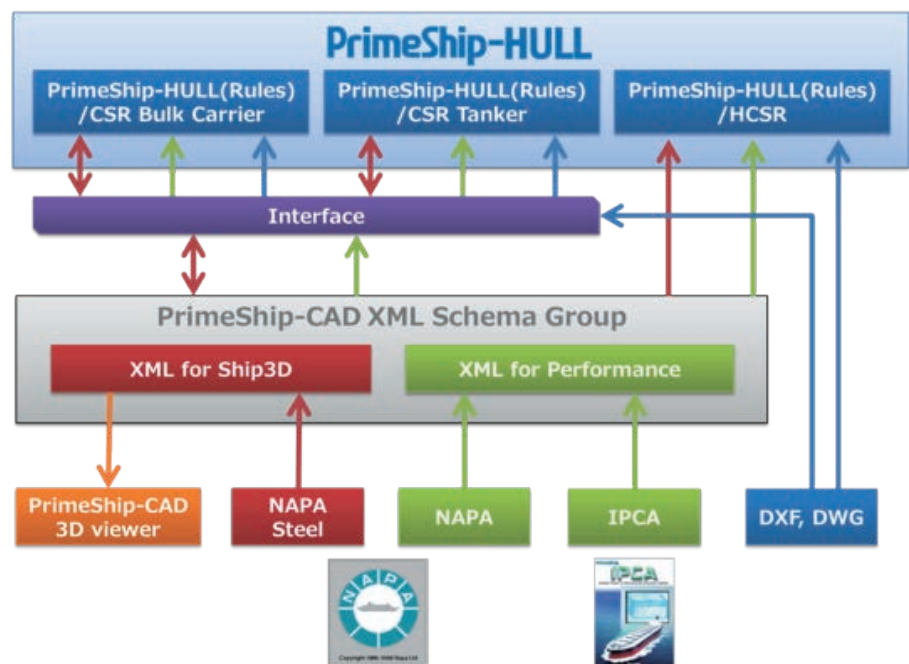
XML Schema for Ship 3D用3次元ビューワ

◇ PrimeShip-CAD 3D Viewer

XML Schema for Ship3D に準拠するXMLファイルを読み込み、3次元表示させることができるソフトウェア

※当該ソフトの標準機能として実装

データ連携の全体構成図



※本ソフトを使用するには、データ連携対象となる各ソフトウェアがコンピュータにインストールされ正常に動作する環境である必要があります。